

森田化学工業株式会社

大阪府大阪市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

約100年にわたり、フッ素一筋に取り組んできたフッ素化合物のパイオニア

- 100年以上にわたるフッ化水素酸の研究・開発により、高付加価値なフッ素化合物を提供
- 原材料の安定調達の確保、及び海外にて増加する需要取組を図るための海外ネットワークの構築
- 高品質で安定した製品を供給するための社内システム導入、及び国際規格の取得

企業基本情報

所在地	大阪府大阪市中央区久太郎町4-1-3 大阪センタービル6階
電話/FAX	06-6252-2501/06-6252-2502
URL	https://www.morita-kagaku.co.jp/
代表者	代表取締役 森田 康夫
設立	1935年
資本金	27,000万円
従業員数	137人



会社概要

1917年に創業し、その翌年の1918年に国内で初めてフッ化水素酸の生産に成功。その後、約100年にわたり実績とノウハウを積み上げてきたフッ素化合物メーカー。半導体や自動車部品、光学レンズメーカー向けに付加価値の高いフッ化水素酸およびフッ素化合物の製造・販売を行っている。フッ化水素酸は毒性が強く取扱いに非常に高い技術を要する化学物質であるため、参入障壁は非常に高く、日本化学メーカー3社による寡占市場となっており、同社がその一角を占める。



本社 大阪センタービル（北館6階）

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 継続した研究開発によるフッ化水素酸の付加価値の向上

半導体集積回路の微細化・高集積化に対応するため、半導体や液晶製造向け高純度フッ化物薬液やリチウム電池向けフッ素化合物など付加価値の高い製品を提供している。

また、多様化・高度化する市場のニーズに答えるため、研究・開発部門では常にフッ素化合物の更なる可能性に挑戦しており、独自のフッ化水素の加工技術により、リチウムイオン電池用材料や光デバイス関連、半導体プロセス用材料など、数多くの新しい高付加価値フッ素化合物を開発した実績を有している。



神崎川事業所

▶▶▶ グローバル展開による安定した原料確保と迅速な需要への対応

各種フッ素化合物の主原料である高純度の螢石は、大半を中国からの輸入に依存しており、加えて中国政府による輸出制限規制が導入されたことから、現地にて原料の安定調達を図るために中国浙江省に現地法人を設立。また、リチウム電池向けや半導体向けの需要が旺盛な中国と韓国において、需要への迅速な対応、及びきめ細かいアフターフォローが出来る体制の構築を目的に、現地法人を設立するなど、積極的に海外展開している。



浙江森美化工（現 森田新材料）有限公司

▶▶▶ 高品質維持のためのシステム導入、及び国際規格の取得

高品質で安定した品質の製品を供給するため、社内コンピューターシステムを導入し、原材料受入から製品出荷に至るまで品質のすべてを一元管理している。また、品質マネジメントシステムの国際規格ISO 9001を各生産工場で取得しており、国内及び海外の顧客に対しても安心して製品を提供できる管理体制を整えている。加えて、環境への有害物質の排出の軽減を推進していく中で、ISO 14001の認証取得済み。



ISO9001 ISO14001 (2015年版) 認証